



TOHOKU
UNIVERSITY

プログラム》》》

14:00 開会挨拶

植田 拓郎 氏 | 東北大学 理事 産学連携機構長

14:05 基調講演

「改めてイノベーションと知財を考える」

澤井 智毅 氏 | 世界知的所有権機関 (WIPO) 日本事務所長

14:45 休憩

14:50 講演 1

「知財を活かした新たなイノベーション創出を目指して」

北川 尚美 氏 | 東北大学 工学研究科 教授
ファイトケミカルプロダクツ株式会社 取締役

15:15 講演 2

「企業知財部門の最近の変化と、産学連携への期待」

志村 勇 氏 | 日本知的財産協会 事務局長 (兼) 関西事務所長

15:40 講演 3

「大学と企業の知財の相違点と知財戦略デザイナーの活動」

浅井 明 氏 | 東北大学 特任教授 (客員)・知財戦略デザイナー※
※特許庁委託事業「知財戦略デザイナー派遣事業」

16:05 休憩

16:10 パネル・ディスカッション

「知財エコシステムにおける
大学と企業の役割、課題、そして将来展望」

モデレーター ^{べっき} 戸次 一夫 氏 | 東北大学 法学研究科 教授

パネラー 各講演者 + 司会者

17:00 閉会

* 司会進行 西村 直史 氏 | 東北大学 産学連携機構 特任教授

詳しい講演内容とプロフィール、申込方法は裏面をご覧ください

日時 **2021年3月26日 (金)**

14時開始 17時終了

方法 **オンライン開催 Zoom ウェビナー**

主催 東北大学大学院工学研究科、産学連携機構

共催 世界知的所有権機関 (WIPO) 日本事務所

後援 一般財団法人工業所有権協力センター、一般社団法人宮城県発明協会

*本シンポジウムは、一般財団法人工業所有権協力センターの大学高専知財助成事業の採択を受けて実施しています。

知財エコシステムにおける大学と企業の役割、課題、そして将来展望
東北大学 知的財産シンポジウム
2021

大学の研究成果を迅速かつより良い形の社会実装を実現するためには、国内市場だけではなく、世界市場を見据えた戦略が求められています。その際、大学をオープンイノベーションの単なる一部として捉えるだけでなく、戦略的視点から大学と産業界が新たなイノベーション創出に向けて共創できるシステムを構築していくことが重要と考えます。

このシンポジウムでは、国際的な視野から知的財産の重要性を最近の世界の動向を踏まえて再整理し、我が国における産業界、大学を含めた新しいイノベーション・エコシステムの実現に向けた、それぞれの役割と知財の在り方について、産業界、大学の立場から議論を進めたいと考えています。

参加費無料 | 申込順 150名予定

知的財産にご興味のある方なら

どなたでもご参加いただけます。

基調講演

「改めてイノベーションと知財を考える」

コロナ禍を契機とした社会変動に直面する中、イノベーションやこれを支える知財制度の重要性に気づかされます。一方、医薬品アクセス問題など、知財制度の功罪も問われることもあります。こうした中、イノベーションに果たす知財の役割を、歴史的意義に加え、主要国や新興国の今日の動向なども踏まえ解説します。

澤井 智毅 氏 | 世界知的所有権機関 (WIPO) 日本事務所長

1987年特許庁入庁。1991年審査官。2000年審判官。2005年JETROニューヨーク知財部長。2008年総務部情報技術企画室長。2011年総務部国際課長。2013年審査第一部調整課長。2015年審査第二部長。2016年審査第一部長。2019年世界知的所有権機関 (WIPO) 日本事務所長。特許庁では、特許制度改革、意匠制度改革、審査処理対策、国際制度調和等を推進。現職にて、知財制度の普及啓発や国際出願制度の促進、日本政府や裁判所との連携に注力。

講演 1

「知財を活かした新たなイノベーション創出を目指して」

2004年初めて企業と共同で特許出願をして以来、少しずつ大学単独出願に切り替えてきた。知財戦略を立てつつも、一番の悩みはPCT出願や各国移行のための費用の捻出である。日本の大学でも、知財で得た収入を活かして次の新たな研究を展開する、そのようなプラスの循環を生み出したい。

北川 尚美 氏 | 東北大学 工学研究科 教授・ファイトケミカルプロダクツ株式会社 取締役

東北大工学部化学工学科卒業後、大学院に進学。1994年博士後期課程を修了。所属学科の女性初の博士号を取得。一月半定職がなかったが、東北大反応化学研究所の助手に採用、その後工学研究科准教授を経て、2017年教授に昇任。専門は反応プロセス工学、化学と生物の反応を対象とし、モデル化や装置化、スケールアップなどを実践。2018年開発技術の社会実装を目指し大学発ベンチャーを設立。GSC賞文部科学大臣賞 (2018) や化学工学会賞研究賞 (2019) を受賞。

講演 2

「企業知財部門の最近の変化と、産学連携への期待」

第4次産業革命到来の中、企業知財部門も独占と共創とのダブル・トラックの状況に変化している。この共創戦略では大学との連携強化が希求される一方、双方で過去発生していた知財条項問題の一部解決策を考察したい。

志村 勇 氏 | 日本知的財産協会 事務局長 (兼) 関西事務所長

1980年上智大学理工学部を卒業後、松下電器産業 (株) (現:パナソニック) に入社。35年間一貫して同社の法務・知財業務に従事。この間、同本社及び本社研究所の権利取得のセンター長を拝命。また、対外活動では特許庁特許制度小委員会やJST自己評価委員会の各委員、大学講師等も経験。2015年にパナソニックを退職し、現在、一般社団法人日本知的財産協会の事務局長及び関西事務所長。

講演 3

「大学と企業の知財の相違点と知財戦略デザイナーの活動」

近年、先進的企業の知財戦略が分析され、事業・技術・知財の3つの戦略の三位一体が重要視されるものの、実現している日本企業は少ない。大学においては「三位一体」という言葉すらほとんど聞かれない。知財戦略デザイナーの活動を紹介しつつ、企業と大学双方の経験から両者の知財の相違点について考えたい。

浅井 明 氏 | 東北大学 特任教授 (客員)・知財戦略デザイナー※ ※特許庁委託事業「知財戦略デザイナー派遣事業」

1991年松下電器産業 (現パナソニック) に入社、半導体デバイスの研究開発を担当。1994～1996年には (財) 新機能研究開発協会に出向し、国家プロジェクトを運営。2003年からは研究企画に携わった後、2005年同社知財部門に異動、ハードウェア系研究テーマやR&D部門全体の知財戦略、産官学連携契約等を担当。2019年同社を退職し、知財戦略デザイナーとして東北大学他1校に勤務。博士 (工学)、修士 (経営学)。

デバイス
スル
カ
ツ
シ
ヨ
ン

「知財エコシステムにおける大学と企業の役割、課題、そして将来展望」

モデレーター ^{ベッキ} 戸次 一夫 氏 | 東北大学 法学研究科 教授

1996～1997年東陶機器株式会社知的財産部。1998～2019年特許庁審査官、審判官。この間、制度改革審議室・法規班係長、審査基準室課長補佐 (平成27年特・実審査基準改訂プロジェクトリーダー)、品質管理室長を併任。弁理士試験、司法試験に合格。また、福島県田村市役所への被災地派遣を経験。2019年～東北大学大学院法学研究科教授。著書「理工系のための特許・技術移転入門」 (共著。岩波書店, 2003)。

問合せ先・事務局 >>>

東北大学産学連携機構企画室

E-Mail sanren-kikaku-s@grp.tohoku.ac.jp

TEL 022-795-5269 FAX 022-795-5286

申込方法

東北大学産学連携機構 Web サイト

<https://www.rpip.tohoku.ac.jp/jp/topics/detail---id-395.html>

または右のQRコードよりお申込みください。

開催日前日までに参加 URL を E-mail にてお送りします。

